

第7回公演

波濤を越えて～古きは新しきに通ず

ありがとう！市民会館

和室にて最初で最後のクラシック

曲目

フルート・スピネット・三味線

* D. ブクステフーデ/高橋編：組曲ホ短調「サラバンド」

* J. S. バッハ/高橋編：平均律 1-20 より「プレリュード」
a-moll BWV865

歌・三味線

* 高橋曜子：「山のあなたの空」

* 高橋曜子：梁塵秘抄より「遊びをせんとや生まれけむ」

フルート・三味線

* 中能島欣一：尺八と太棹のための「波濤」 他

順不動



歌・三味線 菊央雄司



フルート 高橋成典

2015.12.19 (土) 午後 3 時開演
(2 時 30 分開場)
茨木市市民会館(ユアアイホール)3階和室 1

567-0888 茨木市駅前四丁目 7- 50 ☎072-623-3962

客席は座布団ですが、ご支障ある方は正座用の椅子などお持ちください



スピネット 高橋曜子

一般 2,800 円

65 歳以上・学生・障害者およびその介助者 2,500 円 当日 200 円増し

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055 (9:00-17:00)

インターネットチケット www.ibabun.jp

高橋080-5719-1956 forallfuelovers@gmail.com



主催：コチの会・東風

共催：(公財)茨木市文化振興財団 後援：茨木市音楽芸術協会・一般社団法人日本フルート協会・若い芽を育てる会「音楽舎」

16世紀後半、同時期に生まれたふたつの楽器—三味線とチェンバロ

三味線は庶民の楽器として琵琶に代わり

スピネットは家庭の愛玩物としてひろまった

やがて三味線は上方に地歌をそだて

スピネットはチェンバロに代わり

江戸とバロックの音楽が栄えた

時空を隔てた両者が遭遇し、今、不思議の幕があく



三味線といえば歌—新作に選ばれた詩は
カール・ブッセの「山のあなたの空遠く」と
梁塵秘抄で最も有名な「遊びをせんとや生まれけむ」

そして「波濤」は中能島欣一の壮絶なまでの傑作—

高橋成典の爛熟したフルートと

菊央雄司の若き真摯な三弦が炸裂する

コチの会・東風 広く一般の方々にむけて音楽を創作する会。
菅原道真の和歌「東風吹かばにほひ起こせよ梅の花 主なしと
て春な忘れそ」より命名された。毎年有志の作曲家により、斬
新な企画で発表している。旗揚げは「最初の大たっぷ・タップの
第一歩」という公演で、当館ドリームホールが満杯となる。



岡村満 舞台美術



菊央雄司 人間国宝菊原初子の後継者、地歌演奏家菊原光治の演奏に感銘を受け12歳で師に入門、後に「菊央」の称号を授かる。平成11年より上方胡弓を菊津木昭に師事。

以後、地歌三味線などの伝統を承継しながらも現代邦楽や新しいスタイルでの演奏にも目を向け、平成22年オペラ「遣唐使」に歌・箏奏者として出演の他、のこぎり演奏家「サキタハヂメ」や和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」とも共演をする。また国内にとどまらず韓国、ヨーロッパ各国などでも精力的に公演を行っている。演奏活動のほか京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員、宝塚歌劇団の箏指導も勤める。

現在は地歌舞地方(じかた)として舞台やTVに出演する他、邦楽アウトリーチを展開し、より多くの人に邦楽に触れてもらえるよう活動している。

高橋成典 東京芸術大学卒業。1960-1994 大阪フィル首席フルート奏者を務める。その間1967-68年ベルリンフィル首席奏者カール-ハインツ-ツェラーの招きでベルリン国立音楽大学に留学、1980年文化庁特別派遣芸術家在外研修員として再びドイツで研鑽を重ねる。ソロ、室内楽の演奏をはじめ文化振興に積極的で、摂津市リトルカメラコンクールや日本木管コンクールの設立に貢献する他、第44回マリア・カナルス国際音楽コンクールなど内外の審査委員を務める。2006年黒髪山音楽ホールを竣工。茨木市音楽芸術協会名誉会長。CD、楽譜多数。

高橋曜子 大阪大学卒業、同修士課程修了。音楽学専攻。1982-83年文部省派遣学生国際交流制度によりケルン大学に留学。2000年『雅楽分析論』により博士号を授かる。楽譜多数。2009年「コチの会・東風」を作曲家に呼びかけ発会。作品は多種多様だが、常に日本の伝統音楽と作曲の融合をめざしている。茨木市音楽芸術協会会員。